

造影剤検査（CT・MRI 等）説明書

（1）検査の目的

本検査は腕の静脈などから造影剤を注入し、病変や血管の状態をより詳しく評価するためのものです。当院で行われる以下の全ての造影剤を使用した検査に適用されます。

- ・ ヨード造影剤：CT 検査、透析シャント造影など
- ・ ガドリニウム製剤・鉄製剤：MRI 検査

造影検査においては腎機能の確認が必要なため、血液検査結果に基づいて検査が実施可能かを判断します。

（2）起こりうる副作用

造影剤を使用することで、以下のような副作用・合併症が起こることがあります。

副作用が生じた場合には、必要に応じて速やかに治療を行います。

（軽度）吐き気、かゆみ、じんましん、熱感など 約1～3%程度

（中等度～重度）血圧低下、呼吸困難、意識障害 10 万人に数人程度

（死亡）ヨード造影剤：40 万人に 1 人程度、ガドリニウム造影剤：100 万人に 1 人以下

（その他）

- ・ 造影剤が血管外に漏れ、注射部位が腫れて痛みを伴うことがあります。
- ・ 造影剤腎症：腎機能が低下している場合、ヨード造影剤(CT 造影剤等)の使用により腎機能をさらに悪化させることがあります。
- ・ 腎性全身性線維症：腎機能が著しく低下している方では、ガドリニウム製剤(MRI 造影剤)により皮膚・内臓に重篤な線維化が生じることがあります。
- ・ 数時間から数日後に、だるさ、頭痛、皮膚の異常などが出る場合があります。
- ・ アレルギー体質の方、気管支喘息をお持ちの方、造影剤副作用の既往がある方は、一般の方より副作用が数倍起こりやすいと言われています。

（3）糖尿病のお薬（ビグアナイド系薬剤）について

CT 検査においてヨード造影剤を使用する場合、腎機能の状態によって休薬が必要となる場合があります。休薬の有無や期間については、医師が個別に判断し説明します。

（4）授乳中の方へ

- ・ 最新の学会指針では、造影剤使用後の授乳制限は不要とされています。
- ・ 慎重を期す場合には、CT 後 48 時間、MRI 後 24 時間を目安に授乳は中断し、その間は搾乳しておくか、ミルクなどで代用ください。

（5）同意の撤回について

本検査に関する同意は、同意いただいた後からでも患者様からのお申し出により撤回することができます。また、同意の撤回による診療上の不利益を受けることはありません。

【緊急時・体調変化時の連絡先】

検査後に体調の変化が出現した場合は、当院(011-382-1111)までご連絡ください。